腰痛について

鹿島厚生病院 リハビリテーション科 小豆畑 健

【健康とは…】

1947 年に採択された WHO 憲章では

Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.

「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、 すべてが満たされた状態にあることをいいます。(日本 WHO 協会訳)」と定義されています。

【身体について】

右のグラフは 2019 年の国民生活基準調査による性別にみた有訴者上位 5 症状(上)、通院者上位 5 傷病(下)の比較です。 男女とも**腰痛・肩こり**の訴えが上位にありますが、実際に医療機関へ行くのは高血圧や糖尿病などが上位で、女性の**腰痛症**でやっと通院する程度の認識だという事が読みとれると思います。

身体活動において**腰**、**肩**は不可欠な部位であるのにも関わらず、早期に治療を考えない傾向にあるようです。しかし、『健康』を考える上で、腰痛・肩こりは有訴者が多い現状は変わらないので、何らかの対応が必要と思います。

性別にみた有訴者率の上立 5 <u>に</u>状 性別にみた通院者率の上立 5 <u>場所</u> (厚労省, *国民生活基準調査*, 2019)

【腰痛について】

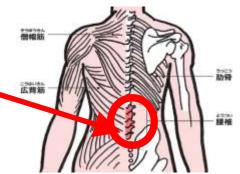
右の図は、姿勢による腰椎への負担を数値化したものです。立位姿勢を100とした場合に、

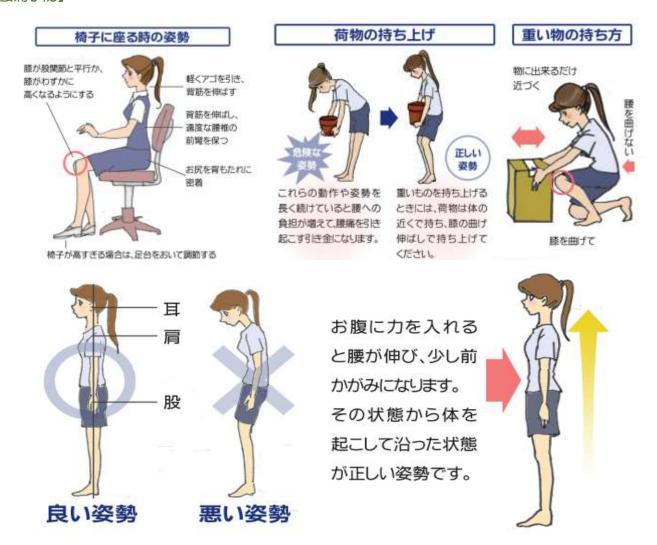
お辞儀は 1.5 倍、座ったまま物を持ち上げると

2.7 倍 も腰椎へ負担がかかることになります。

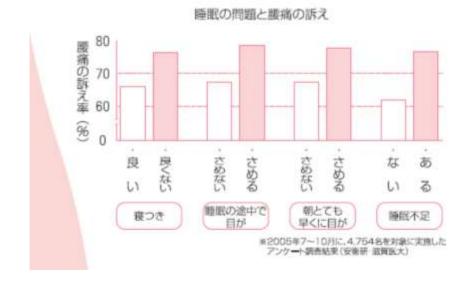


腰痛とはほとんどが<u>腰椎</u> から起こります





睡眠に支障のある方の約80%は腰痛がある



【まとめ】

健康について考えるとき、すべての状態に対応できる万能な方法は無いと考えます。自分にとって何を優先すべきなのかを考えて、一つ一つ解消していくしかないと思います。無理なく続けることが一番の解決策と思います。